



あなたがたはそれぞれ、賜物を授かっているのですから、神のさまざまな恵みの善い管理者として、その賜物を生かして互いに仕えなさい。(ペトロの手紙14章10節)

As each one has received a gift, minister it to one another, as good stewards of the manifold grace of God. (1Peter 4:10)



賜物を生かす

—ペトロの手紙14章10節—

九州学院チャプレン・副院長 小副川 幸孝



桜舞い散る4月に中高464名の新入生を迎えて、九州学院の新しい歩みが始まりました。熊本地震の被災から1年が経ち、ようやく復興の歩みも始まったばかりですが、明るく、楽しく、そして学びと鍛錬を深める新年度の始まりです。被災して多くのものを失いましたが、だからこそ、今年度の学院の目標を「賜物を生かす」にしたいと望んでいます。

聖書は、私たちにはそれぞれに賜物が与えられていると教えます。そして、大事なことはそれを他のだれかと比較して、多いと自慢したり、少ないと嘆いたりするのではなく、賜物はそれぞれに異なっているが、その賜物をそれぞれが生かすように生きることだと教えます。不足を嘆いても意味のないことです。「小さくは小さく咲かん、神をたたえて」という言葉がありますが、私たちがなりにそれぞれに与えられている賜物を用いて、その花を咲かすことができると願います。九州学院の生徒・教職員それぞれに与えられている賜物は、決して小さくはないのですが、一人一人が咲かせる花の花束、それが九州学院を形成するからです。

復興の年になる2017年、それぞれの賜物を生かして互いに仕え合うような愛と信頼に満ちた豊かな学院生活ができると望んでいます。

2017 九州学院入学式 新たに464名(中・高)が仲間入り ～兄弟姉妹は89組181名～

4月11日(火)、2017年度九州学院中高入学式が本校体育館で行われました。式には新入生(高校357人、中学校107人)、保護者、来賓、教職員が多数列席して、新たな九学ファミリー誕生の瞬間を見守りました。式はキリスト教形式で行われ、小副川幸孝チャプレン(学校付牧師)の聖書朗読、祈禱が行われました。阿部英樹院長による式辞、山崎恒雄同窓会長、吉永源太高校生徒会長の挨拶などの後、新入生を代表して中学校は森田雄二郎くん、高校は磯野芽衣さんがそれぞれ誓いの言葉を述べました。



在校の兄弟姉妹がブラウン・メモリアル・チャペルに集合(5月15日)

この入学式をもって新入生は正式に入学を許可され、晴れて九州学院生徒の一員となりました。閉式後、各教室では担任と生徒が保護者参観のもと、学級引き継ぎが行われました。一大行事を無事に終えた新入生の表情は、安堵とともにこれからの九学生活に向けた決意を感じさせるものであります。

祝日本一! 剣道部 全国高校選抜(男子団体)5連覇! 自転車競技部 全国高校選抜(男子学校対抗)初優勝!

3月に行われた全国高等学校選抜大会で、見事2本の優勝旗を九州学院が獲得しました。



自転車競技部(初優勝!)

3月29日(水)、久留米競輪場において行われた第40回全国高等学校選抜自転車競技大会「最終日」に、九州学院高校自転車競技部がロードレースと



剣道部(5連覇達成!)

3月に行われた全国高等学校選抜大会で、見事2本の優勝旗を九州学院が獲得しました。この日行われたケイリン決勝で川淵雷斗選手が3位、スクラッチ決勝で松本秀之介選手が6位に入賞するなど、チーム一丸で得点を重ねていきました。また、3月26日(日)に山鹿市あんずの丘特設コースで実施されたロードレースでも、伊藤旭選手が3位、佐藤健選手が8位入賞する活躍をみせました。昨年の全国選抜大会や高校総体でも個人種目において優勝者を出しており、今後ますます全国区としての活躍が期待されています。

聖書には、十字架の言葉は「神の力」(第一コリント1:18)とあります。十字架にけられ復活したイエス・キリストは、私たち九州学院のリーダーです。九州学院の教育と二層の発展のために、皆様方のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

私たちは、十字架に特別な思いを重ね合わせる事ができます。九州学院の校訓「敬天愛人」は、十字架の言葉から取られています。自分と学院の出会いの原点に立ち返ることができると思います。入学してよかった、子どもたちを呼ばせてよかった、卒業してよかった、心から思っていただけのように、私たち教職員は、愛情をもって生徒たちの幸せを願いながら教育を進める者でありたいと思います。そのために、毎日の礼拝を大切にしています。礼拝とは、聖書の原語では、「前にひれ伏す」「頭(こうべ)を垂れる」という意味です。絶対者である神様の前に、人は誰でも平等です。謙虚な思いで静かに頭を垂れて、今生かされていることに感謝して、建学の精神を共有して一日を始める時です。私たちが、学院の教育目標である世のため人のために「役に立つ善人」として、人々に仕える生き方を自ら問う時でもあります。



九州学院 院長 阿部 英樹
熊本地震から一年が経ちました。今なお試験の中にある皆様、心よりお見舞い申し上げます。被災された生徒、保護者、教職員が多数いることを覚えて、一日も早い復旧と復興をお祈りしております。

2017 育友会総会を開催 全提出議案を承認

5月27日(土)、九州学院フラルン・メモリアル・チャペルにおいて、2017年度育友会総会が開催されました。

高校 第69回卒業証書授与式を挙行

3月1日(水)、総合体育館において九州学院高等学校第69回卒業証書授与式が挙行され、346人が学び舎からそれぞれの進路へと旅立ちました。

復興へ前進！2号館耐震改築工事竣工式

6月6日(火) 2号館1階図書室において「九州学院2号館耐震改築工事竣工式」が執り行われました。



「土の器」という題による説教、聖別、祝福を行いました。また、長野県在住の山崎まさより寄贈されたステンンドグラス(ルターの薔薇)が図書室入口付近に設置されました。

高1一泊研修会 2年ぶりに開催

4月14日(金)・15日(土)、高校1年生の一泊研修会が阿蘇市内において行われました。この研修は、新入生が九州学院で身につけるべきマナーやルールの理解の徹底とクラスおよび学年の親睦を深めることを目的として実施しています。



入浴と夕食の後、各クラスで親睦会が開かれ、オリエンテーションやレクリエーションなどが行われました。2日目の朝はチャプレン講話と院長講話の時間があったため、生徒たちは真剣な表情で傾聴していました。

充実した高二研修旅行 ー上越スキー・東京ー

2月19日(日)～22日(水)高校2年生265人、引率教師11人は研修旅行を行いました。一行は羽田空港に到着後、東京都内を見学して上越(新潟)に移動しました。



充実した高二研修旅行の様子。

特進コース1年生特別企画 講演と異文化体験ワークショップ

5月19日(金)、1学期中間考査終了後に1年生特進コースは、JICA(独立行政法人国際協力機構)熊本・国際協力派遣員である阿南栄子さんを講師に迎え、お話を伺いました。

- 退任: 津志田恭子(国語), 中村 綾(国語), 近藤 亜紀(理科), デイリン・ホツ(英語), フォン・ホルツ(英語), 川口 博文(英語), 坂本 あや(英語), 永田しおり(英語), 前村 知宏(英語), 横井 尚子(英語), 角田芽比呂(英語), ことも園(英語)
- 新任: 志田 恭子(国語), 中村 綾(国語), 近藤 亜紀(理科), デイリン・ホツ(英語), フォン・ホルツ(英語), 川口 博文(英語), 坂本 あや(英語), 永田しおり(英語), 前村 知宏(英語), 横井 尚子(英語), 角田芽比呂(英語), ことも園(英語), 永野 かよ(国語), 谷 朋未(国語), 秋峯 健吾(理科), 鉢之原秀平(英語), 渡邊 笙子(英語), キー・ラング(英語), ヴォーレン(英語), 松林 深(英語), 村上 麻里(英語), 中川 未(英語), 坂口 菜優(英語)

2016(平成28)年度 事業活動収支計算書 (単位:百万円)

Table with 4 columns: Category, Income, Expense, Total. Rows include: 事業活動収入の部, 事業活動支出の部, 教育活動収支, 教育活動外収支, 特別収支, 基本金組入前当年度収支差額, 基本金組入額合計, 当年度収支差額, 前年度繰越収支差額, 基本金取崩額, 翌年度繰越収支差額, 参考: 事業活動収入計, 事業活動支出計.

「2017年度の進路状況について」

進路指導部長 谷口 象二郎

今年度の四年制大学の合格者数は、国立大22名(うち現役22名)：大阪(法)、筑波(体育)2、山形(工)、山口(農)、熊本(文)、福岡教育(教育)、大分(工)、宮崎(工)、鹿児島(理)、北九州市立3(地球創生、法、国際環境工)、熊本県立8(総合管理6、環境共生、文)、名桜(人間健康)、過年度卒2名：九州(医・保健)、熊本(理))、私立大300名(うち現役一般入試72名：上智、明治、専修、日本社会事業、法政、明治学院、立教、武蔵野美、多摩美、中京、名古屋外国14、京都光華女子、近畿3、国際医療福祉、純真学園、西南学院大4、福岡大4、福岡女学院、第一薬科、長崎国際、九州看護福祉4、熊本学園17、熊本保健科学2、崇城、尚絅、AO・一般公募・スポーツ推薦入試合計101名、指定校推薦入試合計127名(うち同志社大13、福岡大16、熊本学園21))でした。その他、短期大学7名、準大学1名(防衛医科)、専修・各種学校41名が合格しています。

今春卒業生346名の進路決定状況は、四年制大学74.6%(前年比-0.2%)、短期大学2.0%(+0.4%)、専修・各種学校11.6%(+1.9%)、就職2.6%(+1.0%)、海外進学等0.6%-1.0%、予備校等(受験準備)5.5%(-0.7%)でした。今年度は県外進学者が増加し、熊本県内への進学者は25.3%と昨年より10%減、県外進学者のうち関東には32.6%(昨年25.6%)、関西には12.0%(昨年13.8%)、福岡には20.3%(昨年17.3%)が進学しました。

今年度も昨年同様、大阪大学法学部など超難関校に合格した人がいました。この生徒は九州学院中学校出身で、内部進学者のなかから、このような超難関大学の合格者が出たことはとても素晴らしいことだと思います。また、昨年に比べ卒業生が少なく、特に特進コースの人が28名とかなり少ない中で、国立大学に22名(スポーツ特進4名を含む)の合格者を出したことも特筆すべきこととしてあげられます。

指定校推薦については、158(昨年162)名の4年制大学から推薦依頼が寄せられ、例年通り、同志社大から21名、福岡大から17名の枠をいただきました。また、新たに熊本学園大学との高大接続特別入試制度が始まり50名の枠をいただいたことも特筆すべきことです。進路指導部としては、このような連携関係を大切にするとともに、進路先で充実した学業生活を送れるように、日頃の基礎学力の向上についても、一層の指導と支援を強めていきたいと考えています。



新学期が始まって2か月、新入園児も徐々に園生活に慣れてきて、毎日、園児たちの元気に賑やかな声が園内に響き渡っています。各クラスともさらに上のクラスに進級し、自分がお兄さん、お姉さんになったことを誇らしげにしています。一年経つとすっかり成長し、自分より年少の園児たちの面倒をみてくれるようになってきています。

九州学院みどり幼稚園 笹やさつま芋のようにな育つ

認定こども園九州学院みどり幼稚園 園長 長岡立一郎 九州学院理事長

5月中旬以降、日毎に暖かくなり、園庭を裸足で駆け回り、水遊びや土で団子を作ったりして、それぞれ思いの遊びを満喫しています。毎月、身体測定をしています。園児たちの身長、体重の変化は想像以上であり、節のようにグングンと身長も伸びていることに驚かされます。半年前まで、私が園児たちを「高い、高い」と抱え上げていたのに、今では腰を痛めそうでも高く上げることができ、夏の季節到来を前に、さつま芋の苗付け作業を体験学習の一環としてカントリーパーク内の畑で行いました。園児たちは泥まみれになり、自分たちの手で土を掘り、一本一本の苗を植え付けていきます。日頃、農作業など畑の土に触れることの少ない園児たちにとって貴重な体験となっています。毎日当たり前のように口に自然のさつま芋の食材が自然の土の中で育てられ、大きな収穫に実を結んでいることを学びます。また、その自然の営みのなかに神さまの創造のみ業を垣間見る体験をしたこととしましょう。

(中学校)学友会活動成績 (1月1日~5月31日)
野球部: 第44回熊本キヤッスルライオンズ旗少年軟式野球大会(水前寺球場) 4月1日 優勝
陸上競技部: 熊本陸上競技選手権大会(4月22日、23日)
剣道部: 神泉会旗大会(1月9日)
柔道部: 第28回県下中学校柔道団体大会(2月19日)
弓道部: 第12回八代市杯弓道大会(3月19日)
水泳部: 新フリースタイル(福岡)大会(1月8日)

新入生107人を迎えて新年度開始
4月11日(日)に入學した1年生107人を加え、中学校は31人で新年度を開始しました。新しいクラスや環境に、生徒たちは緊張した面持ちながらも、それぞれの目標や決意を胸に、いスタートをきることができた様子うかがえました。
1年生も入学から約2ヶ月が経過し、通学や部活動、授業にも慣れてきたようです。中学校では職員室入室にあたって英語で許可を求めることをルールとしていますが、元氣よく英語の挨拶ができています。その姿勢は高校職員室入室時にも変わらず行われており、高校の先生や生徒から高く評価されています。今後のさらなる成長が期待されています。

中学校卒業証書授与式を挙行 100人が新たな旅路へ
第70回九州学院中学校卒業証書授与式が3月11日(日)、プラウン・メモリアル・チャペルにおいて挙行され、100人が母校から旅立ちました。開式の辞の後、卒業生は3年間の中学校生活に思いを馳せながら訓辞・祝辞・送辞をかみしめ、最後の校歌を万感の思いを込めて斉唱しました。鐘の音が響くチャペルを後にした卒業生は卒業学活に臨み、担任からのコメントや卒業生による保護者への感謝の手紙など、笑顔と涙顔が入り交じる温かいときをもちました。震災の影響で仮設校舎での学活となりましたが、在校生が心を込めて教室の飾り付けをしてくれ、卒業生たちは一生思い出に残る一日を過ごすことができました。

1年生(現2年生)学年行事 美里町「日本の石段」に挑戦!
3月6日(日)、1年生は学年行事で美里町にある日本の石段(3333段)に挑戦しました。例年はスケート研修に出かけますが、今回は熊本地震の影響でアクアドームスケートリンクが閉鎖中のため、場所と内容を変更しての実施となりました。当日は朝8時30分に学校を出発、現地に到着後、まずは入念に準備運動を行ってから、石段の挑戦を開始しました。生徒たちは友達とお互いに励まし合いながら頂上を目指して登り続けました。3千を超える段数は中1には大変なものでありましたが、無事に全員石段を制覇することができました。生徒たちは今回の登頂を通じて、日本一になることの大変さを学んだほか、困難に立ち向かい克服できた達成感を味わうことができたこととでしょう。この経験をこれからの九中生活に生かしていくことを期待します。

学生会活動成績

(1月1日~5月31日)

水泳部

新フリースタイル

- 福岡西市民プール (1月8日)
福岡西市民プール
男子
50m自由形
4位 荒木 元太(1年)

- 100m自由形
8位 浦川 鈴(2年)
200m自由形
4位 浦川 鈴(2年)

- テニス部
男子個人無差別
2位 中熊 駿(2年)

- ボクシング部
熊本県立熊本農業高等学校
熊本県大会
4月15日~22日

- 陸上競技部(男子)
陸上競技部(男子)
熊本県立熊本農業高等学校
熊本県大会
4月1日